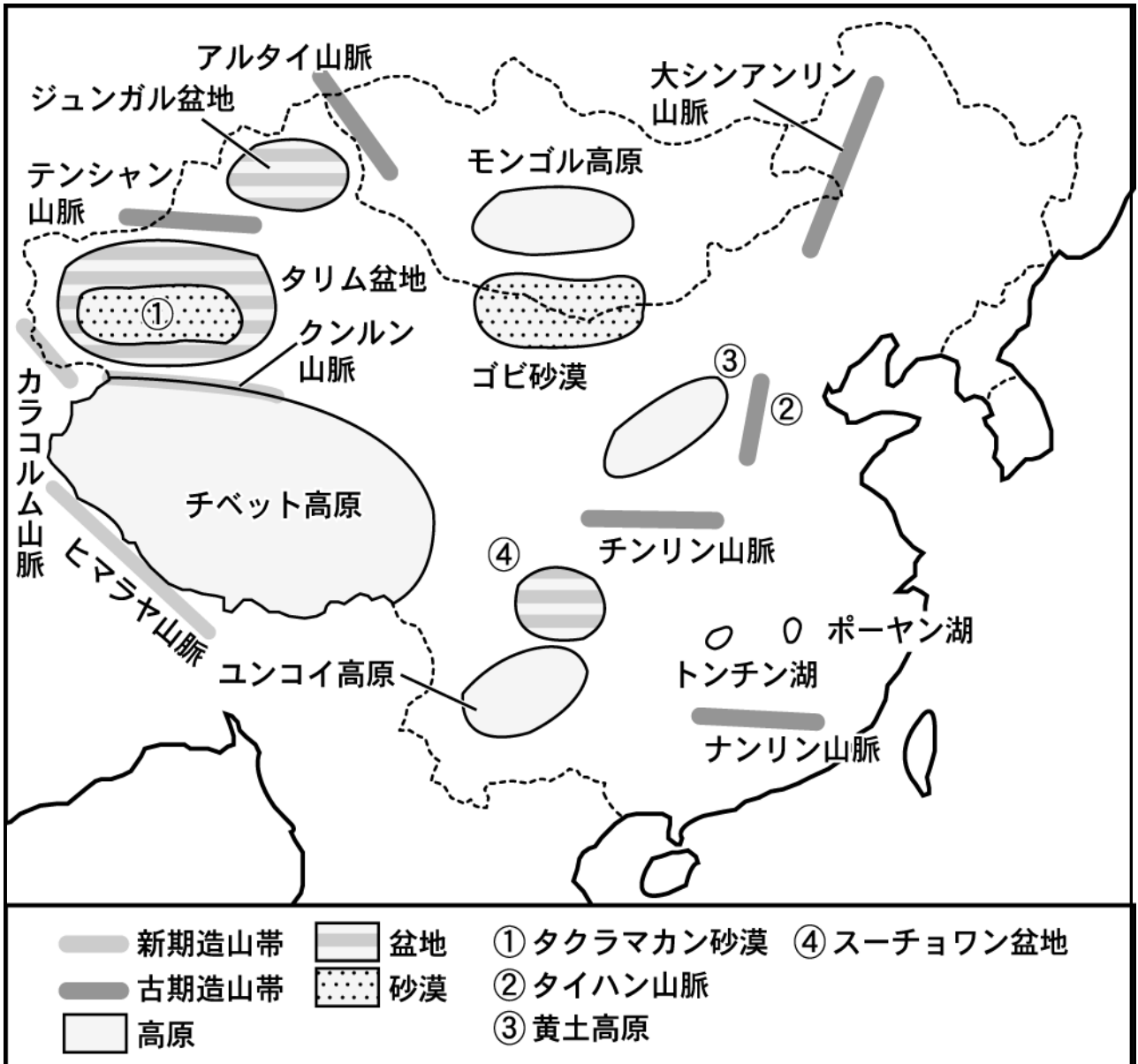


千リモリの地誌ゼミ

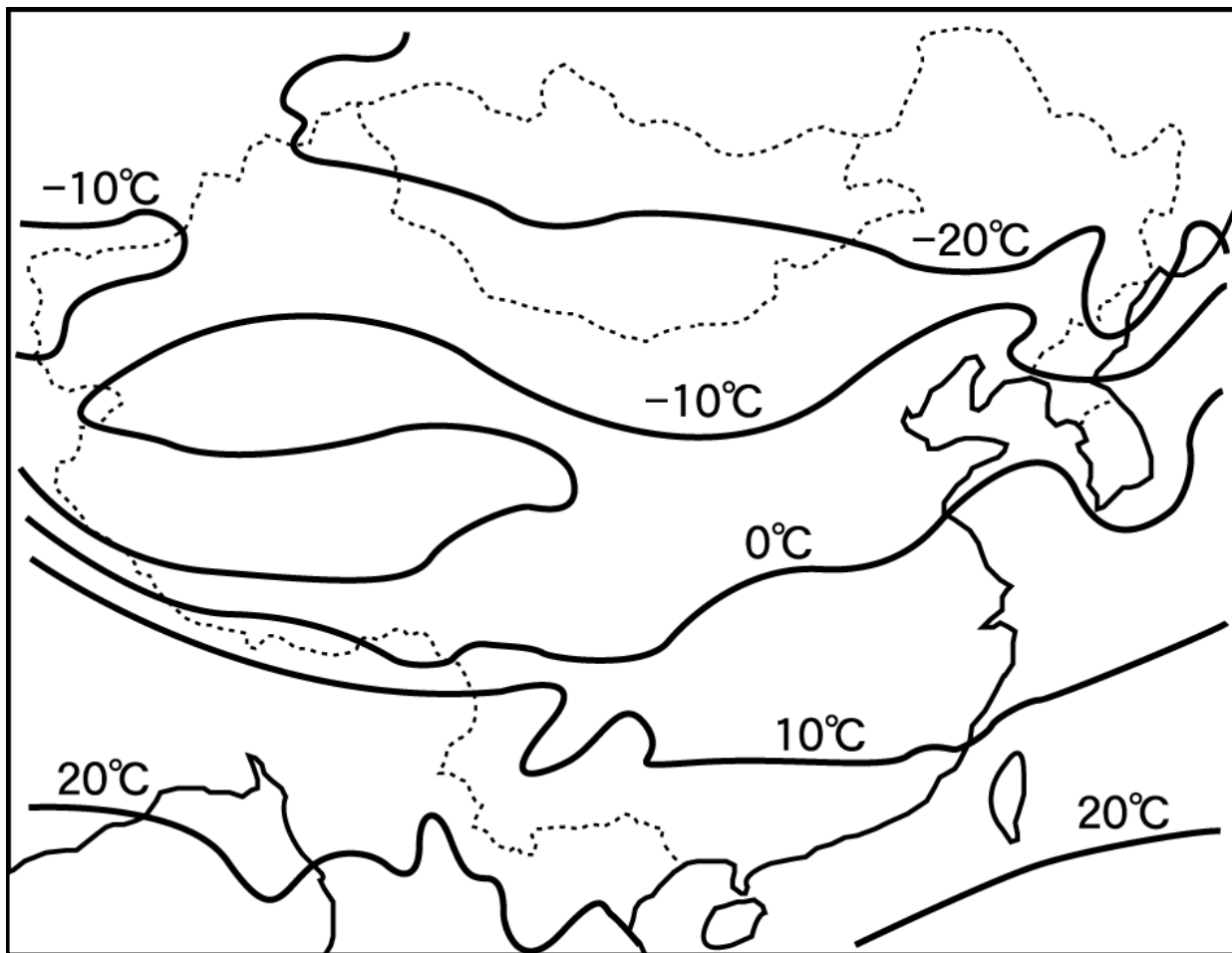
第1講 東アジア

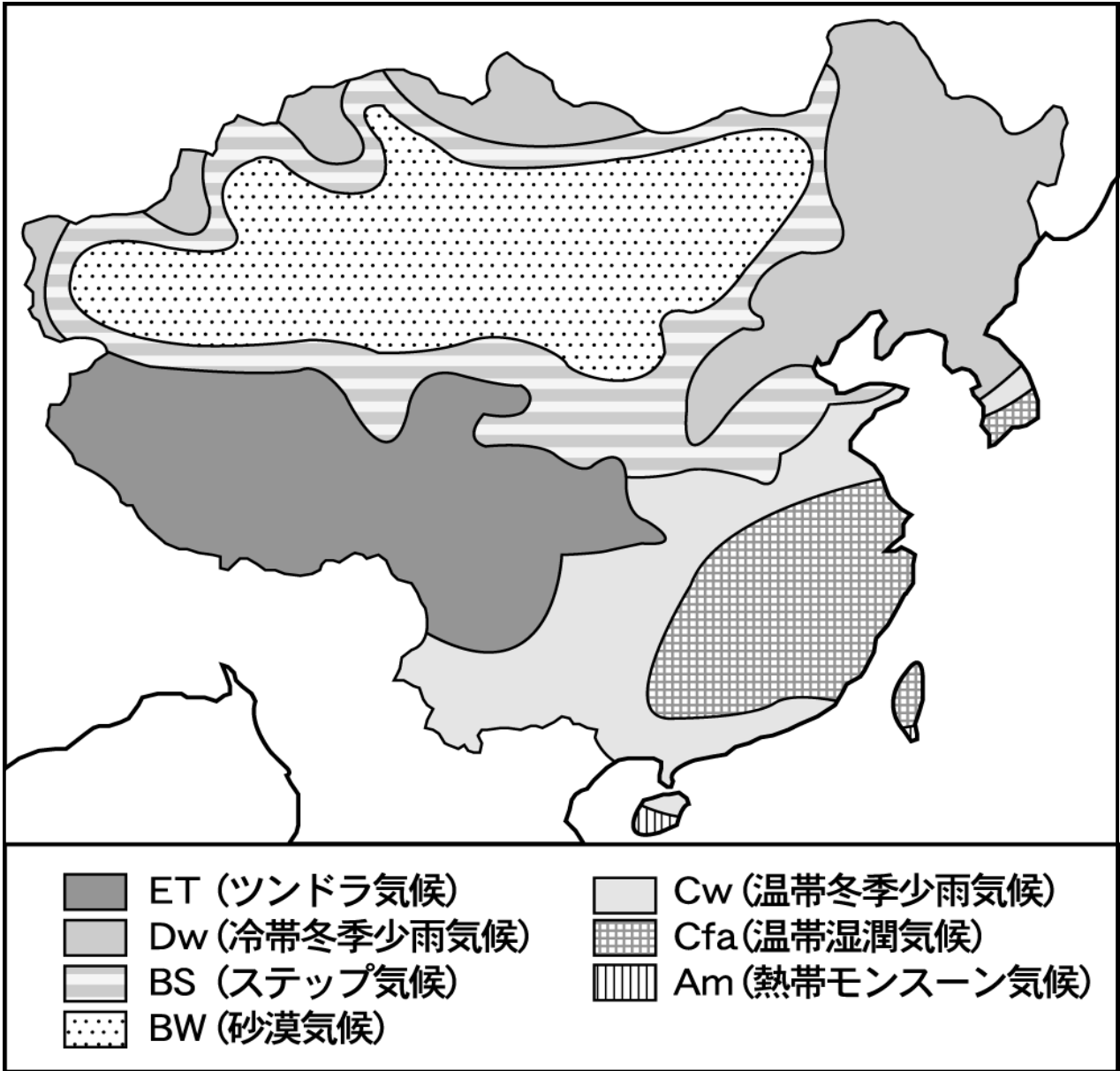


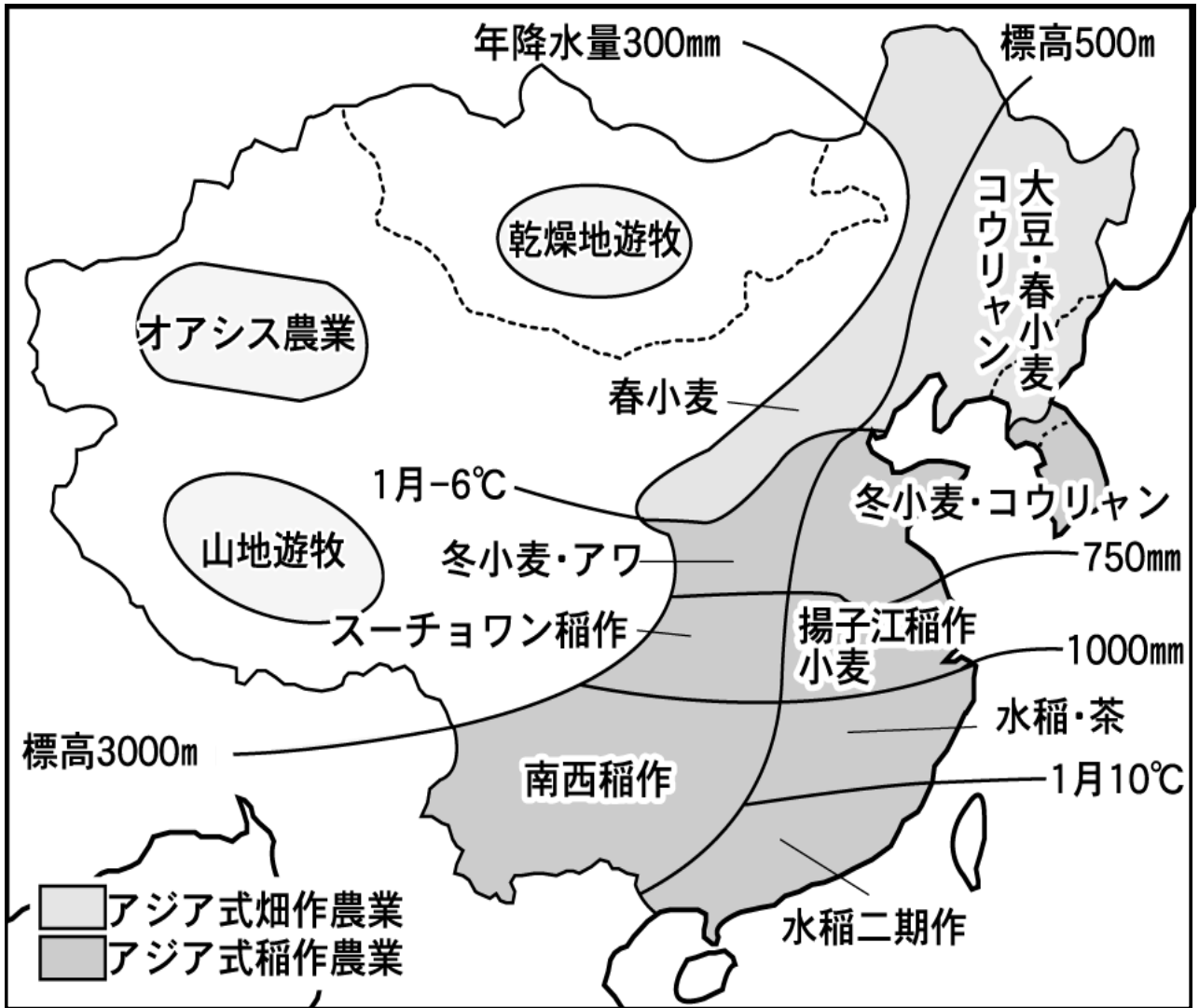


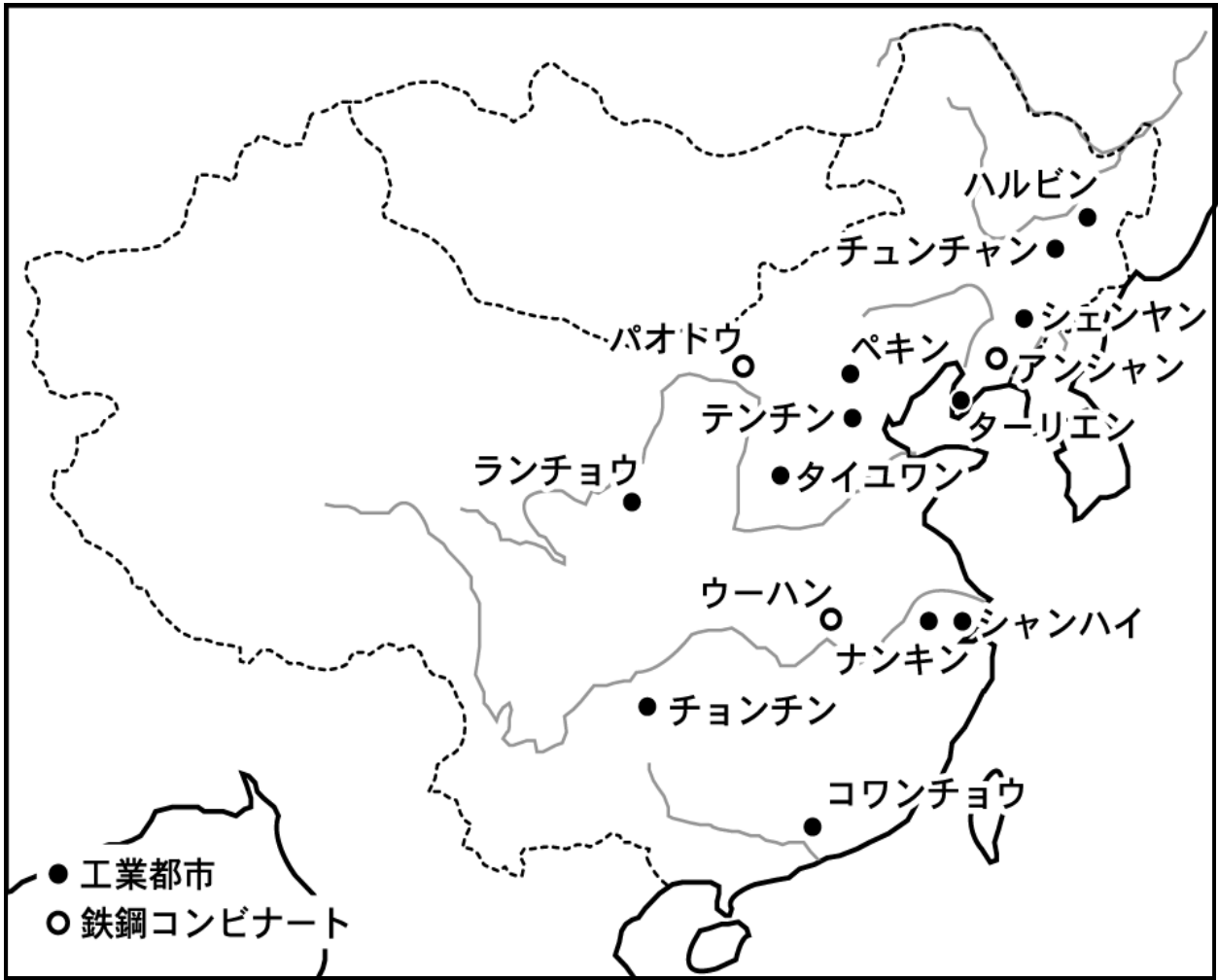


1月(冬)の等温線図



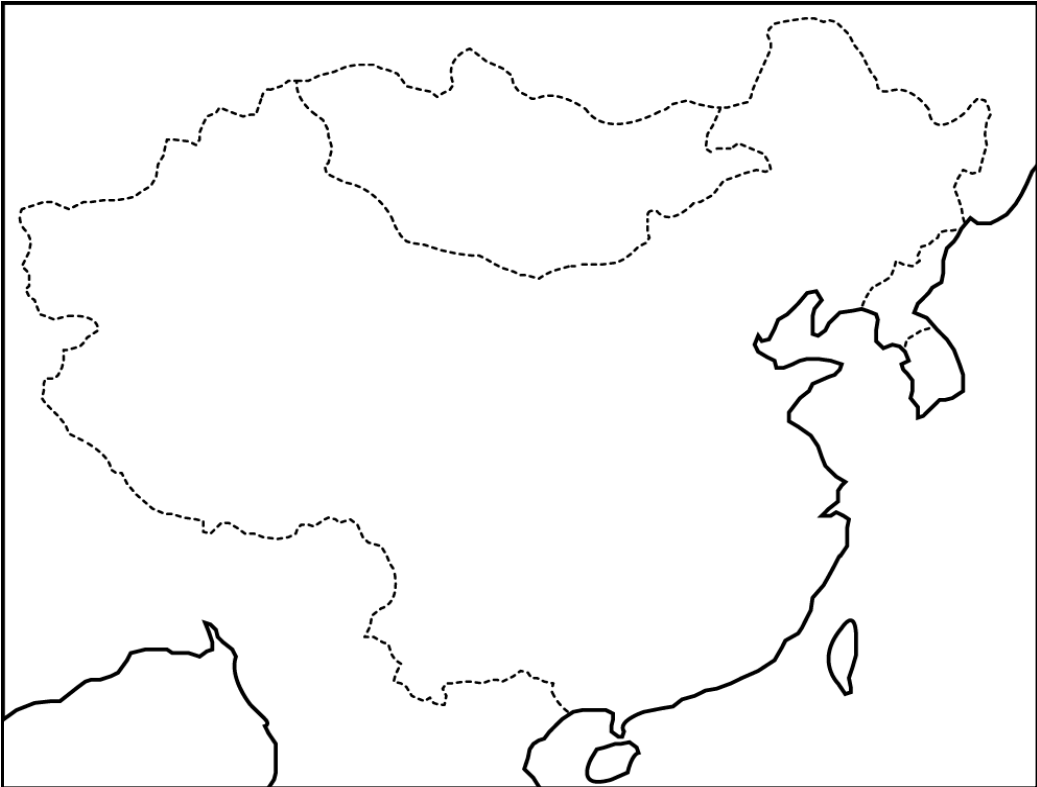






1. 中華人民共和国

キーワード 「2000年以降・経済発展」「せんい」「人口最大」

<p>データ類</p>	<p>人口第1位⇒約13億人。(都市人口率…約35%Ⓔ) (1次産業就業率(農民の割合)…約50%Ⓔ)</p> <p>面積第4位⇒960万km²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林率…約13%(低) ・耕地率…12%(低)⇒<u>インド</u>よりも低い、生産量は<u>インド</u>を上回る。 ・牧草地率…40%(高)
<p>宗教と民族</p>	<p>主に儒教・仏教。民族が9割。 残りは少数民族で構成されている。</p> 
<p>貿易</p>	<p>輸出品機械類(額はずば抜けてトップ)、鉄鋼・繊維(未だに上位)。 貿易額輸出額が高く、輸入額が低い。つまり、貿易黒字を実現している。</p>
<p>産業</p>	<p>農業北部の畑作(小麦)、南部の稲作(米・茶・綿花)、内陸部の放牧。 工業パソコン、せんいなど労働力立地工業の生産大。 資源石炭の使用が大。 電力火力中心。水力・原子力は順次開発中。世界最大のサンシャダムが長江に完成。</p>
<p>都市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5つの自治区と2つの特別行政区であるホンコン、マカオがある。 (注) 香港は旧英領・マカオは旧ポルトガル領 ・省と同格の権限をもつ直轄市は北京(首都)、天津(外港)、上海(人口最大)、重慶の4都市。 ・シエンチェン(シエンチェン・アモイ・スワトウ・チューハイ・ハイナン)

	<p>⇒この地域では、<u>関税の免除・軽減などの優遇措置</u>を与え、外国企業を進出しやすくした。</p>
<p>歴史と政治</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化大革命…1965年から行われた。生産力の低さから、マイナスの評価とされる。 ・ 「四つの近代化」…1970年代後半から掲げられた。工業・農業・国防・科学技術の四つ。社会主義中心から、資本主義の受容に転向した。 ・ 農業の「人民公社」⇒「生産責任制」へ。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒集団化した人民公社は、一定の成果はあったが<u>労働意欲が低下し</u>、生産も停滞した。そのため、個々の農家単位の経営にし、<u>契約量を超えた生産は、市場で自由に販売できる制度</u>に変更。富農が多くなり、万元戸も増加。 ・ 農村では労働力が余ってきたため、郷鎮企業が発達した。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒<u>農村の中小企業</u>で、業種は多岐にわたる。人民公社解体後、合理化が進んだ農村では、余剰労働力が目立つようになり、国が町村経営でできる企業を作った。 ・ 西部大開発…沿岸部の発展した工業を内陸(西部)にも、行き渡らせようという改革。 ・ 経済格差は「都市・農村格差」「地域格差(内陸・臨海)」「業種格差(農業・工業)」があげられる。とにかく沿岸部の経済発展が著しい。

2. 台湾と香港

★両方ともアジアN I E Sの一員。外国資本を導入した輸出指向型工業で発達。

① 香港 (ホンコン)

- ・ 1997年にイギリスより返還された。
- ・ 一国二制度のもと、50年間の資本主義存続が認められている。

② 台湾

- ・ 中国の一部だが、経済的には独立国として機能。人口は2000万人程度。
- ・ 経済の成長で賃金レベルも上がったため、中国へ直接投資をし、生産拠点を移している
⇒労働集約の部門は中国へ移し、知識集約の部門のみを台湾へ残している。
- ・ 台湾有数の工業都市は、高雄(カオシュン)で輸出加工区の設置により、貿易額も非常に高い。

3. モンゴル

キーワード 「草原の国」「ゲル」「遊牧」

データ類	人口⇒約260万人(人口密度…2人。1次産業就業率…約45%(高)) ・ 森林率…約7%(低) ・ 耕地率…1%(低) ・ 牧草地率…83%(高)
宗教と民族	宗教はチベット仏教。アルタイ語族のモンゴル人。
政治と経済	社会主義国だったが、現在は市場経済化している。

4. 大韓民国

キーワード 「資源がない」「加工」「船」「石油化学」「不況」

データ類	面積⇒約 10万 km ² 人口⇒約 4800万 人(人口密度⇒ 480 人・都市人口率⇒約 80% (高)) 1次産業就業率…約 10% (割と高い) 森林率⇒約 65%(割と高い)
宗教と民族	宗教は 儒教 。アルタイ語族の韓国人。 ハングル文字(表音文字) を使用。
貿易	輸出品 自動車 (輸出品目では二番手)、 船舶・石油製品 (特徴的)。
産業	農業稲作 中心。 工業船舶 が世界一の生産。石油化学工業が発達。 資源地形的 に取れない。⇒地形は一応、安定陸塊が中心。
政治と経済	<ul style="list-style-type: none"> ・東西冷戦ではアメリカ軍(資本主義)が支持した。そのため、1950年の朝鮮戦争で、同民族にも関わらず北朝鮮と対立。南北に分断する。 ・農業では、1970年代にセマウル運動がおき農村の近代化が進み、生産性が高まる。 ⇒しかし、食料自給率は低く75%程度。 ・工業でも、1970年代に高度経済成長を果たし、「漢江の奇跡」とよばれる。 ⇒経済発展は財閥が中心となり、巨大な企業が形成。昨今では、中国への企業進出も多くなっている。 ・アジアNIESの一員として、輸出指向型工業で発展する。資源を輸入し、加工した製品を輸出する工業を行う。 ⇒しかし人件費が高まってきたため外国投資が減り、経済成長は中国よりも低い。 ・また、アジア通貨危機のあおりを受け、不況となり、現在の経済発展は伸び悩む。 ・首都ソウルは、人口の4分の1(1000万人以上)が住むなど、一極集中が著しい。 ⇒それにより、地域格差も顕著となるなど問題となっている。 ・インチョン空港はアジアのハブ空港として機能している。

5. 朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

- ・首都はピョンヤン。国の人口は2200万人で、面積は12万 km²。韓国よりも広いが人口が少ない。
- ・朝鮮戦争では、**旧ソ連**が支持し、社会主義化する。
- ・金正日総書記による政治。社会主義国家による計画経済(**チヨンリマ運動**)が行われていた。